

イアクリバスト街道はバストスの繁
栄のみにあるのではありません。パワリスと鉄
道の繁栄に比べると、ハクリスはとこ
ねて見たので、ハクリスはと云われたが、僕
は、鋪装問題は見込んで、州知事を訪ねて、
も出撃のたび毎に州知事を訪ねて、
つちも持ち出したもので、州知事は多
忙に拘わらず、一度もいやな素振りを見
せず、快く応じて、先日はメロンを
送って、よく応じて、先日はメロンを
幸を覚えて、いくと、礼を云われるので、
僕が、日系なんでも、少し興味を持つた
るの、これも知れんと思ひます。
S
が、一般のフレイトのように政治家く
さくなく、トシロに見え、まア純情に
見ゆる人です。ね、そういふ点が理想家
肌。の知事さん、どこで工事はいつか始
思ふ、ね、と、ころで、工事はいつか始
ので、すか。
西
の道幅を左右に拓いて、五十米幅にす
るんだぞうです。
S
ア、それは、はつきりしません。ね、現
在の道幅を左右に拓いて、五十米幅にす
るんだぞうです。
西
それ、へ、ビツ、シリ、ア、ス、ル、ト、敷、く、の、か、な
技師の話では、両側にひろげた部分は
そのままで、車の走る部分、三十米位が、鋪
装されるのです。もちろん地主には、地
代没収しただけは、文松うの、め、し、う、
S
その、七、万、五、千、何、百、コ、ン、ト、の、内、に、地、代
も、含、ま、れ、て、い、る、の、で、す、か、
西
それは、別だと思ひます。七万五千コ
トの、上、が、道、路、拓、張、工、事、に、あ、と、が、ア
ス、ル、ト、及、エ、事、の、よ、う、に、き、い、て、お、ま、す。
い、す、れ、に、し、て、も、本、年、中、に、で、き、る、と、は、夢
にも、思、つ、て、い、ま、せ、ん、で、し、た、
S
知事さん、今年一、は、い、の、任、期、で、し、よ、
う、今、や、つ、て、や、ら、な、く、は、又、い、つ、の
日、か、成、ら、ざ、ら、ん、や、と、追、加、予、定、の、認、許、を
議、会、に、求、め、て、一、気、呵、勢、に、や、つ、て、く、れ、る
こ、と、な、つ、た、の、で、し、よ、う、ね、
西
全、聖、州、に、五、百、余、の、ム、ニ、シ、ピ、オ、が、あ、
て、自、分、の、シ、ア、テ、の、周、辺、サ、イ、タ、五、六、キ、ロ
の、道、を、鋪、装、し、て、も、う、い、たい、皆、請、願、し、
い、る、中、で、只、一、つ、バ、ス、ト、ス、に、だ、け、を、普、通、の
理、由、で、は、許、可、で、き、な、い、そ、こ、で、ア、ク
リ、由、を、唯、二、の、出、口、と、し、て、い、る、バ、ス、ト、ス
に、優、先、権、を、興、え、ら、れ、た、も、の、で、し、よ、う、か、
S
ピン、ト、知、事、は、任、に、就、く、と、す、ぐ、全、聖、州
に、亘、り、四、大、州、道、幹、線、計、画、を、樹、て、全、力
を、上、げ、う、れ、た、が、各、地、の、請、申、に、な、る、事
業、も、第、一、期、に、繰、り、入、れ、ら、れ、た、も、の、は、殆、ど
と、知、事、の、任、期、に、完、了、す、る、と、い、う、で、す。
次、期、政、權、が、誰、の、手、に、お、ち、る、か、判、り、ま、せ
ん、が、お、か、り、に、ピン、ト、知、事、が、推、す、ジ、ョ、ホ
ニ、シ、オ、氏、が、就、任、す、れ、ば、同、い、党、派、で、は
あ、る、大、体、同、政、策、を、踏、襲、す、る、で、し、よ、う、
今、か、ら、手、を、打、つ、て、州、政、府、の、援、助、を、得

るような必至事業は、あらかじめ申請書
を提出して、おくべきで、政府の主要項
目に入れて、もらって、おく必要がありま
す。お、か、な、い、と、容、易、に、順、番、が、廻、つ、て、ま
て、お、か、な、い、と、容、易、に、順、番、が、廻、つ、て、ま
せん。
S
では、もう、あなた、は、手、を、打、つ、た、の、で、す、か
西
否、それ、は、い、う、こ、と、は、判、然、と、云、え、ま、せ
ん、が、や、は、り、こ、こ、で、は、郡、議、会、の、協、賛、決
議、に、よ、つ、て、行、動、を、起、さ、な、く、は、な、り、ま
せん。
S
ですから、バストスのような、小なムニ
シピオでは、政党派によつて、相争う
よう、な、こ、と、を、し、な、い、で、少、し、も、バ、ス、ト
ス、郡、の、た、め、に、何、か、援、助、を、し、て、く、れ、る、政
府、側、と、携、手、し、て、い、く、こ、と、を、考、え、な、く、
は、や、つ、て、い、け、な、い、と、思、ひ、ま、す、
S
地方の代議士や、有勲者が、や、つ、と、な
つ、て、中、央、政、府、へ、い、さ、が、つ、て、予、算、奪
を、や、る、の、は、日、本、で、も、中、々、は、い、れ、い、
ピン、ト、知、事、は、実、に、バ、ス、ト、ス、の、た、め、に
よく、し、て、く、れ、ま、し、た、そ、の、好、意、に、む、く
に、次、の、選、挙、の、時、も、投、票、し、て、も、ら、い、た、い
と、僕、は、切、に、念、ず、る、も、の、で、す、や、が、て、そ
れ、は、尚、一、層、バ、ス、ト、ス、郡、の、利、益、と、な、る、結
果、を、持、来、す、と、思、ひ、ま、す、
(五月廿一日)

CASA TARODA

みしん、お求めの方は
世界的マルカを誇る
シンガミ ミシンに
おきめ下さい
ラジオ おききの皆様
室内野外携帯自由電気入らない
トランジスタラジオ
感度すこぶる鮮明
肥料と農薬品なら
太郎田屋嘉右衛老備先生が
御相談にあずかります
ご遠慮なく御用命下さい
電気器具類一切
食料品 飲料水 和洋酒
穀類の御用は

太郎田商店
バストス市

10 PRESTACÖES

の長所美点を融和してよりよき社会の實現に貢献する事である。然るに己が子弟達に祖国の言葉を教えず、祖国の長所美点を習得させなければならぬ。祖国の社会に祖国の優秀な文化を取り入れる事は不可能となるであろう。父兄諸賢よ、速かに自己の子弟に偉大な日本精神を継承し修得せしむる必要を自覚され日本語教育の実施を断行されん事を切望する次第である。

しかし何事でもいざ実行するとなれば色々問題が生じ難関にも遭遇するものであるが、それらの問題は父兄が真剣になり文化協会が動き市長市議の後援があり協力を得て住民一九となる事によって解決される苦である。

先ず公認学校の設立から始め、許可を得なければなるまい。又使用校舎は中央会館とか文化協会を充てることも不可能ではあるまい。小学校の教師達にはブラジル全般に於て既に広く実施されて居る情勢を説明して諒解を求めぬ必要はありやう。伯語と併行して日本語教育を入れることも無理だとの考えは一部の父兄にも伯人教師の内にもあるであろうが、低学級の日本語採用は決して無理を伴わない。あまり消極的な考えでは時期を逸して終りのである。青少年期は教育の最適時であり最も良く伸びる時である。期を逸せば伸びるだけの伸びはすべからず、人間の能力は無限であり、使えば使う程発達するものである。青少年期はその能力の最も顕著な時代であるから、両語の勉強をしても過重とはならない。(一般的には日本語の方は低学年だから)その証拠には青少年期に両語の修得を人は皆立派な人物となつていく人が多いではないか。

かたに伯語教育だけやっていても出来の悪い生徒は結局出来ないので、終つてしまふ。却つて小人閑居して不善をなすの例どおり、暇があるといたずらをして遊びぐせがついてしまふ。

かれこれ論議しても始らぬし、且つ時は徒らに過ぎて再び戻つてこないのだから、思い立ったら時期を逸せず、家庭に於ても初歩の日本語は見てやるようにした。

青年団もスポーツに熱中すると同時に日本語の勉強にも熱を入れ、巡回日誌や機関誌を發行して大いに日本語の勉強に励んでいただきたい。

教育も早速機関誌の再發行を計画して、日本語教育に貢献されたい。伯国教育の方はバスターの子弟中の大部分が中学程度は学力を受けているのだから、その方は心配なく、日記機関誌などを利用して日本語の習得を身につけるよう指導に留意され、發行回数も出来るだけ多くするよう努力

養蚕契約者求む

百五十グラム(二百グラムまで飼育できる手のある家族の家族求む)
新ランシヨ 桑園モノホ 提供
(養蚕も追々景気回復の兆あり)

ご希望の方は 左記へ

サウデ区 北谷

バスターズ 歌会報

五月十三日宮武勝甫氏居に於て第百廿七回月例会を催した

一人一首

白つづすがしく咲けば暗示とも
未知なる明日への期待となして

人の心はかり難くてさびしむに
空碧々と菊咲く季節

長病める友へのペンすすまざり
慰め言葉書さつくりいて

底知れぬ人間性の実体に
きれいな事のみ言いても居れず

紅きもの視覚に好み追ふ性か
蜂雀は今朝もサルビヤに未る

生業のこの営みを守りゆく
今日の一日もあろまかなうぬ

君らの良き理解者たうと思ふ朝
秋庭の菊の露にさやけ

ひそくと囁く者のある如く
窓辺にバラの夜風に揺れて

八十路すざし母は昔は帰りにゆく
わが贈りたるささやかなもの抱えて

風邪に臥す今日一日に読み了え
師より借りたる菊治歌集を

秋陽浴び咲きつぐ、紅の菊の花は
娘が水やるも日課となりて

席題 秋一切

鼻い来て秋日だまりに編む娘の
まぶしきまでの若き雰囲気

清らかな詩情を保つねがいあり
仰ぐ秋月は吾が身に遠く

追憶のいくつありて巡り来る
木綿の花に泣く事一つ

かえりくる傷みぬくめる如くにも
黄なる夕やけ秋庭に咲く

歳と共に日印れるわれの読書癖
秋の夜長を心ゆくまで

死に絶えし力ナリヤの声の錯覚に
見よける窓に秋陽 まぶしく

秋晴れの下鼓枝は今高潮か
マイクにのれる声の弾みて

これ度い、最後に今一つ要望したいこと
は、各區で日本語の夜学を實施すること
である。学校組織のようなものではなく、近
所の子供、青年達が教人で始め父兄の方
が協力して、読み方や習字をさせるも
暇のある年寄りも居られれば参加協力
されれば偉である。(了)

扶美

千代子

菊子

勘一

三丘

忠雄

勝甫

富代

敏子

まりえ

まさ江

千代子

忠雄

勘一

扶美

菊子

勝甫

三丘

迷い手紙

本人不在又は居所ご存じのお
方にお渡し致します(週報社)

受取人

- キラタヨシト
- 中野トミキ
- 野田清梧
- 野原次郎
- 寺前ヒトシ
- 貝岐保雄
- 全MUNOKI OHEI
- 島崎勝巳
- 伊藤ヒロシ
- 杉本ヨシオ
- PE D ROMANA
- 村崎米一
- シラクタマエ
- 新谷ヨシヒロ
- 広瀬栄吉
- 金子富次
- 平田ヨシト
- 緒方時雄
- 末永吉見
- 生方正義
- SIGEE スミマツ
- HOSIRO FUKA
- MITSUZO NI CHI
- YUKO ASADA

墓地美化資金寄附芳名

- 金一千クルセロス也 坪井 琳 様
- 金二百クルセロス也 大高 治雄 様
- 金五百クルセロス也 佐竹 万四郎 様
- 金二百クルセロス也 中野 米太郎 様
- 金二百クルセロス也 高橋 勇孝 様
- 金二百クルセロス也 境井 常治 様
- 金二百クルセロス也 座喜味 へい口 様
- 金二百クルセロス也 木原 忠一 様
- 金五百クルセロス也 崎田 かめよ 様
- 金五百クルセロス也 田中 聖 様
- 金三百クルセロス也 馬次 場 均 様
- 金五百クルセロス也 小田 謙 吉 様
- 金二百クルセロス也 古谷 務 様
- 世話人 杉山 霜 出 様

植木商店主談

「物価よ騰り給うこと勿れ」と念じた
甲斐もなくマクネ大佐どのは既に昇格
し、近くエルジン・ミン嬢もはね上ら
んとして居り、まことに困った世相と
嘆くばかりです。しかし、せめて手も
ち品だけは元の値でお暮らさるに差上
げたいと思つて居ります。云々」

羨やましき哉

社用族の訪日

高橋 鏤骨

(其の一)

バスト入週報、今週のゲスト第三十五回
松本誠二氏の談話、僕の見た日本、その
一から四まで息もつかぬ面白さで悠々
り読まして頂いた。同じ訪日者の中にも
斯かる豪華な訪日を成し遂げる人もある
ものかと嘆息しはし、実にうらやましい
の一語に尽きる外はなかつた。

所謂社用族の実態を赤裸々に見せて貰
い、そして今迄そうした種々な行動な
どを想像していたそれを裏書きしたかの
感じを深くしたのであつた。

そして立場が立場だけに吾々には到底
近よりがたい世界の、たとえは産業だと
か、又は文化の方面に亘つてアメリカと
日本を比較しての氏独得の軽快洒脱な談
話振りには胸のすくような涼味さえ覚え
るのであつた。

昨、惜しまらくは氏の爛眼に依つて日
本の裏々を見て貰つてそれを語つて貰い
たかつた事である。いわゆる下々の貧し
い農民の姿や下級労働者、ニコヨンの
生活実態などである。尤も二十日や三十
日間の滞日では無理だと云へばそれだ
が、しかし糸音老から「チツと悪い方の
話もしておくれよ」と口火を向けられて
も、僕はいい話しかしない事にしていて
悪い方面のアラ探しをやつてトクイに
なっているバカもあるが、僕には悪い方
面を得意になつてしまへる勇氣はないよ
と云つてアツさり片づけられた事である。

或るフラジルの日系成金が訪日して各
地を観光した時のこと。もうその人の事
は行く先々へ連絡されてあつて、あるホ
テルなどでは妻君滞同でないことは分
て居るにも拘わらず、立派なWベッドの
ある室に案内してボーイ曰く、後程お伽
が参ります。といつて最敬礼して出て行
つたさうだ。又酒席ではこの酒席でも決
つたように腸息代りに二人の美女を侍ら
せたといふことだ。日本という処は実に
至れり尽せりで、ことに社用族や成金で
なんほでもお金があると分れば浦島が籠
の中の祭典を地でいく位の事は想像でき
る次第である。こんなに接待されればア
バタも笑くほど、少々悪いところなどは
目にもつくまい。又ついた処で荒立てる
様な勇氣が湧かないのが人情なのかも知
れない。

ところが私は悪いところを得意になつ
てではないが、只訪日第一印象をこわした
不愉快な事柄を日伯紙や本紙にありのま

Para as noites frias dêste inverno Prefiram as flanelas e os Cobertores das Tradicionais:

CASAS PERNAMBUCANAS

Porque esquentam muito mais e custam muito menos.



当店発売の

フランネルとコベルトールで

寒い冬の夜を温かく

お過ごし下さい

最も少い

費用で

最も暖かくなる

秘訣です……

その他、テシードは、大量生産により

クストが安いので、すべて市価より安い

その上、ガラは斬新、色は褪めぬ

よい品物はかりでございます

カーサス
ペルナンブカーサス
バストス 支店

まを書い事について再び振返って検討し
てみることにする。
訪日の第一歩を印したのは一九六〇年
の四月六日横浜に上陸した時だから浦二
年以上経った訳だが、あの時の税関吏の
仕打に對しての印象は今日尚眼底に焼き
ついておれない。それから信州の小海線
廻りで伊那に旅行した際、列車中での日
本人乗客の傍若無人の振舞を見せつけら
れた時と、この二つが主なるものであった。
飛行機でスチューワーズから親切なサービ
スを受け乍ら快楽な空の旅。そして一、二
の軽い靴を持って颯爽と空港に降り立ち
又内地旅行も大抵の場合には飛行機にのり
たま、汽車旅行と云えば一等席のクツ
ションに悠然と寛れ乍らブラジルの貴族
然とあたりを睥睨し乍ら旅行したという
M氏には三等船客でその船賃もやつの
思いで調達した音々の姿には或は想像も
つかない事かも知れない。しかし四十年
迫り海外生活、それに肉身として生き残
っている唯一人の兄貴やその子供達、そ
の他の親戚の喜ぶ顔を見たいとおのほり
さんよろしく十ヶ迫りの荷物を携行した
のだから、税関吏の眼が光るのは当然か
も知れない。ただその態度が氣に喰わな
かったのだ。魔業の密輸で半はノイロー
ズになつてゐると見做される彼等には、

出身地がブラジルの農民であろうが、
正当な市民であろうが客扱はない。友人
から故国の母へといつて言伝った録入り
の珈琲粉末などの中身まで包紙を破って
調べる始末、そのためそれと一しよにあ
った者の手紙など破られた紙と共にどこ
へ行つたか分らない。私の持参した数十
金のトージが多すぎるといつて過分の税
金が課せられた。私が多すぎるといつて
いながら、ブラジルの煙草は珍らしいが
ろうと二〇〇グラム、のフーモデコールが
とパリリヤを買ってあったので正直に申
告言に記入しておいた。ところが税吏は
フーモを指でつまみ上げて煙草は此れ
だけかと聞く。そしていかにもウサン臭
さそうに冷たい眼で見廻すのである。た
った数十人の伯国より横浜に上陸する訪
日者の荷物の検査にサントスあたりなら
ば二三時間で済ませるところを午後三時
から始めて夜の八時頃になつても済まし
てくれぬ。ジヤンタ後再び検査に立ち
会ふ可く税関に赴いたらもう今日はこれ
だけにして残った分は明日にするといつ
て扉を下ろしてしまつた。このために折
角の商船会社サービスに依る東京都観光
は私一人だけである事にして老妻は荷物
の検査に立会わせる仕儀となつた。この
杯なふびんな目に違つた人達は私の外に

も殺人あつて気の毒であつた。こんな不愉快極まる体験を味つた訪日者は、ひとり三等船客のみに止まらず、モジで一大養鶏場を営んでゐるM氏などは夫婦と娘さん連れで一等船客として訪日した人だが、此の時の憤懣を第二回海外日系人大会に出席して其の布上、議長の前で公開した。処よく調査した上で善処しようし、議長をして約束させた事でも彼の日の税吏の仕打ちがいかに常軌を逸したものであつたか、わかるであらう。

(其の二)

さて次は汽車旅行の件だが、小海線を小淵沢駅で中央線にのり換えた時だつた。勿論赤けつとの三等客(六月以降は一等、二等だけとなつた)の私達夫妻がのり込むと余り超満員でもないらしいのに、席は一つとして空いていない。よく見ると一人で二人分の座席を占拠して平気で中には狸寐入りをして居るらしく見せかけて一寸した荷物などを片側の席にのつけている。一駅過ぎ二駅目になつてもドライバーの者は現われぬ。便所や食堂車へ行く客はそれでも自分の降りる上諏訪駅に着いた時は目を見開いて荷物をまとめた下車したので私達二人は、やつと腰かけることができた。その間車掌は腕に事務車掌といふ赤い布に染抜いた麗々しい腕章をつけて、二回其辺を通りすぎたが立っている自分らと二人分の席を占有して、乗客を見ても見知らぬ振りで通りすぎた。

あとで客から、此の野郎生意気だといつて殴られるのが恐ろしく座席の整理をしなかつたのかも知れない。このような光景はたとい三等車だといわれども此のブラジルあたりでは体験できぬ風景である。帰伯の船中では此の話をしたら、熊本縣出身の某氏は「あんたもそむやんでしたか」と前おさして次のような話をした。この人はピラッキ在の珈琲園主で、訪日されたのであつた。氏が熊本へ帰つてから汽車旅行をした。或る日、前述の私の様な目に逢つた。最初は一人分の席をトマコンタして居る位に思つて、一つ二つの駅を通過する迄立通して、いつの間にか来ますからといつたので、重ねて問うた。私も痛くて仕方がない。一計を案じ、はいつても此の座席の人が戻つて来たから私をせめて呉れ」といふと、しぶしぶ傍の荷物をあみ棚に上げ、下り去うことに、どうも頭の

いい人には叶わぬ。これに聞いた某氏は頭の一つもアツてやられたかつた。と述懐するのであつた。もしM氏にして以上の様な場合に、そのマニズムのM氏といふ人も一言位はその非を鳴らすに相違あるまいと思われ、ともあれ其の人個々の性格と立場に依つて主観もそれ、遠くおけではあるが、只自分の尺度だけで全部を押し量るのは一寸位不満をアツまけて悪口をいふた処でそれだけの理由はある筈でなければならぬ。

今や又々物価大巾の値上りに
フンゲキの情やるがたなく

太郎田やマシン部

破天荒的
快々の

爆弾販売

敢行

シンガロミシン
6X6,000.00

六コントス 宛六回払

好機逸する勿れ

その他のフレスタソンも
御希望に応じます

何もそれで優越感にひたつて満足して居るわけではなからうと思ふ。日本の票口をコッピとく日本の新聞に書いたといふ或る日系医師の文章にのりテンヤウの騒ぎになつたが、当の本人は余りの反響の大きかつた事に驚き、「自分も本人であるからそんな心算で書いたのではない。やがて外人の目にも余りみじめな所は触れさせたくない。で只老婆心から日本がよくなりなうと解しているのを見た。」

(紙面の都合で以下次号)

渡部判事歓迎の夕

去る五月八日官報で公示された渡部和
 雄判事はアララクワ線ホッホランが
 市の裁判所で二年間勤務することとなり
 赴任の途次五月十八日夜兩親に挨拶のた
 めバストスに永植したか叔と和雄氏が
 未植したなら郷土の栄辱のため歓迎会
 をと一部で計画していたが連絡がわるく
 バストス青年文化倶楽部の隣り同A.C
 M.B.幹部バストス日伯文化協会一部役
 員市長市議員二十四五名の少数で十九
 日夜文協会館に於て和雄及兩親を招いて
 祝宴の宴を催した
 席上一人のこゝろす葡語日本語
 謝辞を述べたのち和雄氏は葡語で
 が今日の地位を得ましたのち勿論皆さ
 らの御鞭撻によること勿論であります
 親の理解と激励にまっさいかにかに大き
 かつたかき今更のよう深く感ずるもの
 ありまます。おとうさんありかとう。お
 かあさん有難うございます。傍々の両
 親に頭を下した時は満場水を打った如く
 蕭然とし感激の場面であった
 尚一般の方でもそうと知ったら参加し
 たかつたという方が多いので入植者前
 の頃バストス訪問の機会に今一度おめ
 どのの会をする相である

カトリック信者へ

アピロゾ

バストス市内及びシツチにお住いの
 カトリックの洗礼を受けた二世の方
 々にお知らせいたします

公教会の五つの掟より

- 第二 少くとも年に一度は必ず告白
すべし
- 第三 少くとも年に一度は御復活祭
の頃聖体を領くべし

洗礼を受けた者はこの掟を守る義務
 がありますので今年から皆一しよ
 に**コムニオン**、**バスコアル**をする
 ことに定めました

二世の方々よ、どうぞ此の機会を利
 用して信者の義務を果しましょう

○ 来たる六月十日(第二日曜日)

○ 場所 イグレージャバストス

(父兄の方へ御願いこのアピロゾを
 子供さんへ知らせてあげて下さい

土地寄附者との約束を

守るために

糸「墓地の仕事はもう片ついたのだらう
 霜出老「墓地前を広くするため、シカラの
 内馬場さんと金川さんに土地を寄付し
 てもらっている。放れ牛がバストス内に入
 り鶏舎の鶏を騒がせて困るからセルカ
 を嚴重にしてくれ。よろしいと約束し
 てあるのだからセルカの柱をコンクリとし
 アラを五条位張らねばならぬ
 市役所の仕事ではあるが土地寄附交渉
 に当ったのは私だ。霜出の奴、口先さ
 はかりで実行はせぬと云われては男が
 すたる。市役所だ市長だと云ってみて
 任期がくれば人も替るだらう。そんな
 約束があつたことまで後々の人に任せ
 る苦もななく、迷惑を蒙るのは土地を寄
 付した人々だ。恩義に報いるのに仇で
 返したくはない。何と判つてくれるか
 あるのかね
 霜出「それが。店に未私の借金こそある
 がそれさえまだ借り放しになつて
 何とかせよ。死にてもできんので困る
 糸「有志の人にわけを話して第二の募金
 をやれよ。一日も早く片付けて、コクリ
 クへ行くと準備をせな。あかんよ。ひと
 りでやせよとさしてどうなるんだ」

カトリックの

おはなしの会

日時 来たる六月九日(土)夜七時から
 場所 イグレージャバストス

お話しする方 ロンドリーナ在任

宮本神父

日本語でお話し下さいますから、ど
 なにもよくわかります。

一般の方々の御来場をおまち致します
 (座談会もする予定)

○ 六月十日午後二時から

男子、女子青年別々に告白、聖体、御彌撒

午後三時

一般の方へ説教 来聴歓迎

主催 バストス聖母婦人会

あけの星 会

死亡通知並に会葬御礼

父、古田千太郎儀、高岑のため予ねて静養中の処、去る五月二十七日午後三時半、聖市サントアマール口の自宅に於て八十五歳の天寿を全うして永眠いたしました。生前の希望に依り亡母(ちさ)の墓に合祀することに致したく、二十八日バストスへ連れ戻り末弟道助宅より同日午後五時出棺、バストス墓地内古田家の墓碑内に納葬いたしました。茲に生前の御厚誼を深謝し辱知各位に謹告申し上げます。追って葬儀に当りましては御多忙中にも拘わらず遠路態々御会葬下さいましたのみならず、御丁寧なる花輪並に御香料など御贈与賜わり、遺族一同御芳志に感泣致して居ります。

実は聖市でみまかりましたものを御当地まで連れて参り皆様に多大の御配慮を頂きましたことを謝し深甚の御礼を申上かるものでございます。(尚、勝手乍ら廻礼、香奠返し儀を見合せ、イグレージャ、及寺院の建設資金、墓地整美費、中央区などへ寄贈させて頂きますれば何卒御諒承願わしく存じ上げます)

一九六二年五月廿九日

在聖市 喪主 長男 古田 義平 松

在モジ 三男 内田 太力

在聖市 四男 深田 寶智

妻 美智子

五男 古田 道助

妻 コフサ

長女 溝部 静子

夫 優子

孫代表 古田 正喜

妻 喜美子

外 孫 西紀 代

夫 徹子

親戚代表 藤井 長男

友人代表 石橋 義利

織原 田 義一

各位

Bar e Sorveteria Yaguiura Irmãos

ツイスト 遂にバストスへ！
このカッフルもあのカッフルも
みんな千差万別の踊り方：
「ツイスト」とは(TWIST)
「ねじる」という意味
腰をひねってリズムに合わせれ
ばいいという踊り。バートナーと
は手を組まない！
ライオンエリザベアならでさるけれど
おとなには一寸はあかしくて、
○しかし、ツイストのあとの
ソルベッテ ギホンは爽快です
チップ ギホン販賣所



やぎうら
イルモンス

Aviso de Cine-Bastos

御ことわり。前号アビーズにて「地の涯てに生きるもの」六月八日九日上映と発表
いたしましたが都合により少し延期となりました。尚入場料は大人八〇、小人四
〇布でございます。前回一二〇。とあったのは印刷誤りにつき御諒承下さい。
○六月一日(金)夜八時 二日(土)九時半 ABRISABRANCA
松竹天然色 池内淳子(二役) 佐分利信 よろめきムードの
型 倍賞千恵子 山下洵二 どもどりムードの
大 新語を生んだ池内淳子の魅力と新人倍賞千恵子の清純振りをごらん下さい

○六月三日(日)九時半 四日(月)夜八時 ENCANTO DE KIOTO
松竹大型 京化粧 山本富士子 川津祐介 監督大庭秀雄
天然色 岩下志摩 藤山寛美
千之祐子 佐田啓二 豪華スターの絢爛顔合せ

○六月八日(金)夜八時 九日(土)九時半 ENGRACADOS
東宝スチーフ 白浪五人男 森繁久弥(日本駐在員)フランキ塚(忠信利平)
天然色 アナヤコ(南郷力丸)有馬郎(赤星十三郎)
加藤大伸(宇天小僧翁之助)淡島、八千草、浪花、羽

どなたさまもまっぴらごめん！ 度胸と
色気、五人男颯爽として登場 日本一の美男子揃、名快マの大気焰！

○六月十日(日)九時半 十一日(月)八時 ESPADA INDOMAVEL
東映スチーフ 月影一刀流 鶴田浩二 篠町弘子 月形竜之介
天然色 美空ひばり 藤田佳子 黒川弥太郎

凄絶ノ月影に舞う血濡れた白刃ノ恋を捨て涙を忘れた孤独の刺客がた
どる多難の道ノ 荒野を彩る剣と恋ノ夢のコンビ鶴田とひばり
くりひひる一大時代の総総巻！

大評判のセスタ・チターヌス：は
今からでも加入する事ができます
カラクジなしの抽籤券つき
プレミオが大きい 住宅一三〇軒
五月と十タルには二十けん当ります
チターヌス社では、セスタの外
コルジョンデモラ
ツアショナル
エンシヨパール

カレストソンで販売してあります
毎月おたのしみ抽籤券つき
毎月少額宛かけている間に
に、自分のものとなる仕
組です。

すぐ御申込み下さい
カタログ 進 呈
申込所



洋服店
丸山 義